

【大分県 別府市】
ネットワーク整備計画

1. 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）

市内小学校数：14校、中学校数：7校

必要なネットワーク速度が確保できている学校数：21校（100％）

2. 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

（1）ネットワークアセスメントによる課題特定のスケジュール

当市では、令和5年度に中学校、令和6年度に小学校にてローカルブレイクアウトの回線工事を行いました。通信を集約させるのではなく、学校ごとに直接インターネットへアクセスする仕組みを構築することで、安定的な通信速度の確保に努めました。東山小中学校を除く市内全ての小中学校で、10Gbpsの回線契約（ベストエフォート型）を結び、授業で一斉に使用しても耐えられる環境を構築しました。東山小中学校については、国立公園内に位置するため回線工事ができないことから、大分県教育委員会が運用するセンター集約型ネットワークを利用しています。現状では通信速度に問題はなく、安定的な通信が確保できていると考えています。

また、教室移動や支援学級の増減等によりアクセスポイントが必要となった教室には、計画的に追加設置し、ネットワーク環境整備を行っております。

（2）ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

上記のとおり、通信回線の整備を実施しており、現時点では通信環境に問題はないと考えております。安定的な通信速度維持のためのネットワーク運用保守により、不具合等に早急に対応できる体制を構築し、よりよい環境整備に努めています。

今後、デジタル教科書やデジタル教材の利活用の導入が検討される中、大容量の通信が発生することが想定されることから、状況によっては有識者や事業者にあセスメントを依頼することも検討していきます。

（3）ネットワークアセスメントの実施等により、既に解決すべき課題が明らかになっている場合には、当該課題の解決の方法と実施スケジュール

現時点では解決すべき課題はないと考えております。